

東京国際芸術祭+バービカン・センター(U.K.)+イスラーム美術館(クウェート)国際共同製作

スレイマン・アルバッサム・シアター『カリラ・ワ・ディムナ - 王子たちの鏡』[クウェート]

# Sulayman Al-Bassam Theatre: Kalila Wa Dimna Kuwait

Co-produced by Tokyo International Arts Festival, barbicanbite 06 (uk), Dar al-Athar al-Islamiyyah (Kuwait)

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 上演実験シリーズ vol.28



主催 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
 共催 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン / JAPAN FOUNDATION 国際交流基金  
 後援 クウェート大使館

bite 2006.3.19

2006・3・19 Sun. 16:00

京都芸術劇場 studio21 (京都造形芸術大学内)



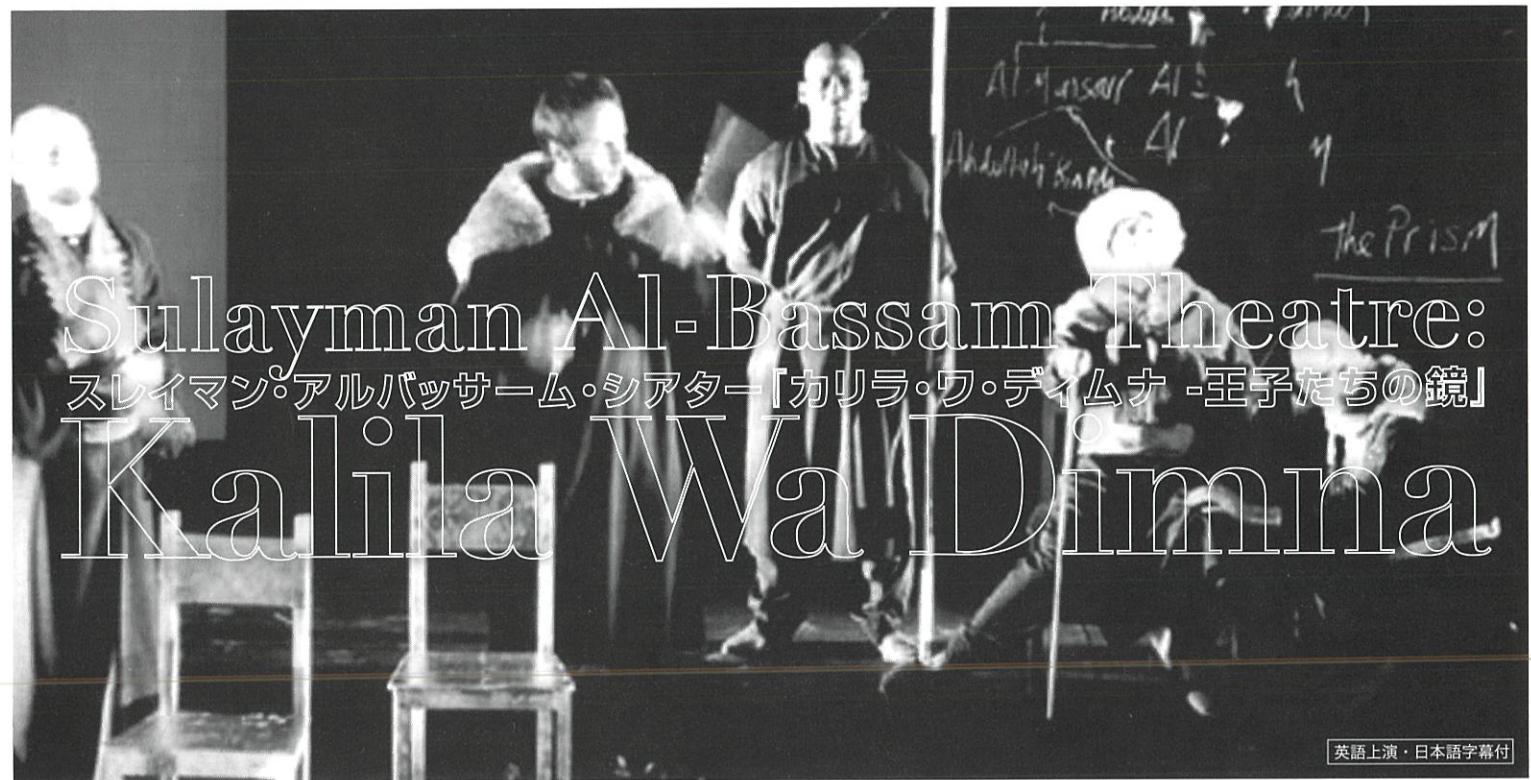
# 『アル・ハムレット・サミット』で日本の演劇界に衝撃を与えたS・アルバッサムが、再び新作を携えて世界初演！ 舞台はアッバース朝<sup>(\*)1</sup> 創世記のバグダッド。千年の時を おいて、中世イスラームの寓話「カリラ・ワ・ディムナ」<sup>(\*)2</sup>が、 現在の中東・アラブ世界の鏡面として蘇える・・・

現在もアラブ世界で最も広く親しまれている寓話集「カリラ・ワ・ディムナ」。この作品をアラビア語に翻訳した作家ムカッファイの悲劇を通じて、現在アラブ世界に生きる芸術家や哲学者が直面する問題が鋭く投影されていく。S・アルバッサムならではの知的でスタイリッシュな演出、洗練された舞台空間や美しいライブ演奏の中に、詩的で暗示的なテキストが乱反射する・・・そこにはいかにしえのバグダッドから、戦禍の混乱が続く現在のバグダッドとアラブ世界が鏡面のように映し出され、シェイクスピアをも彷彿とさせる歴史劇の中に、帝国と権力を巡る諸問題が浮かびあがることだろう。

東京国際芸術祭、パービカンセンター(UK)、イスラーム美術館(クウェート)による共同プロデュースで実現した待望の新作、いよいよ世界初演！

\*1アッバース朝：750年～1258年、イスラーム教カリフ制をとった2大スンニ派王朝の2番目。イスラーム文化が開花し、哲学や科学の新境地が開拓されたイスラーム世界の「黄金時代」。

\*2「カリラ・ワ・ディムナ」＝「カリラとディムナの書」。古代インドから伝えられた寓話集「パンタチャトラ」を、作家ムカッファイがアラビア語に書き直し、以後イスラーム世界に広まる。現在でもアラブ人なら誰でも知っている寓話集として親しまれている。



## Sulayman Al-Bassam Theatre: スレイマン・アルバッサム・シアター「カリラ・ワ・ディムナ -王子たちの鏡」 Kalila Wa Dimna

英語上演・日本語字幕付

### 演出家・劇作家 スレイマン・アルバッサム Sulayman Al-Bassam

1972年クウェート人の父とイギリス人の母の間に生まれる。アラブと西洋という二つのアイデンティティを戯曲のダイアログとして展開し、現在の政治を鋭く批判する知的でスタイリッシュな演出で知られる。94年にエジンバラ大学修士課程を修了後、96年劇団ザウムを旗揚げ。『アル・ハムレット・サミット』で2002年8月エジンバラ・フリンジフェスティバルにてファースト・フリンジ賞、02年9月カイロ国際実験演劇祭にてベストパフォーマンス賞とベスト演出家賞をダブル受賞し、一躍世界の注目を集める。04年3月、東京国際芸術祭との共同製作でアラブ人キャストによるアラビア語バージョンを発表、世界中の演劇祭や劇場に多数招かれ、絶賛を受ける。02年よりクウェートに拠点を移し、アラブ・イスラーム世界が直面する諸問題を演劇によって表象し顕在化させる活動を続けている。

作・演出：スレイマン・アルバッサム Sulayman Al-Bassam

美術・衣裳・映像デザイン：ジュリア・バズレー Julia Bardsley

照明デザイン：シャイン・ヤブローン Chahine Yavroyan

作曲・演奏：ルイス・ジブソン Lewis Gibson

演 奏：アルフレッド・ジェノベジ Alfredo Genovesi

制作・技術監督：ドモニック・マーティン Domonic Martin

舞台監督/パフォーマー：ヴィッキー・ベリー Vicky Berry

出演：ミシェル・ボナール Michelle Bonnard

ナイジェル・バレット Nigel Barrett

ベン・ボアマン Ben Boorman

アレックス・カーン Alex Caan

キャミー・ダーヴィッシュ Kammy Darweish

シモン・カーン Simon Kane

ニコラス・カーン Nicholas Khan

マチュー・パリッシュ Matthew Parish

ファズ・シガース Faz Singateh

技術監督：草加叔也(空間創造研究所)

舞台監督：小林裕二

照明：小笠原純(ファクター)

音 響：相川晶(サウンド・ウィズ)

翻 訳：エグリントンみか(英演劇・批評)

制 作：相馬千秋(NPO法人アートネットワーク・ジャパン)

# 2006年3月19日(日) 16:00開演

前売開始 料金 一般 前売3,000円 当日3,500円  
1月11日(水) 学生&ユース(学生) 前売2,500円 当日3,000円  
(学生&ユース券は学生証が年齢のわかるものを提示下さい。/未就学児童の入場は通園扱いにておきます。)

★ポスト・パフォーマンス・トークを行います。

会場：人間館3階 NA301

## 京都芸術劇場 studio21

(京都造形芸術大学内)

アクセス

●JR[京都]駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上総町・京都造形芸術大学」下車(京都駅から約50分) ●市営地下鉄「丸太町」[北大路]駅から→京都市バス204循環に乗車、「上総町・京都造形芸術大学」下車(約15分) ●京阪電鉄「出町柳」駅から→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分 →タクシーで10分 ※駐車場はございません。



東京公演

日時：2006年3月10日(金)～16日(木) 10日(金)・14日(火)・15日(水)・16日(木)19:00開演 11日(土)★12日(日)★17:00開演 13日(月)休演 会場：にしすがも創造舎  
★終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり 3月12日(日)ゲスト：宮沢章夫(劇作家・演出家) お問い合わせ：東京国際芸術祭(TIF) TEL.03-5961-5202 http://tif.anj.or.jp